

令和5年度 学校評価報告

学校法人 勢至学園 横内幼稚園 園長 山田浩子
学校関係者評価委員長 池谷聡美

1 経営の重点にかかわること

幼稚園の教育目標 心豊かで元気な子

幼稚園の教育方針 子ども一人ひとりが安心感と信頼感を持って、様々な活動に取り組む、発達に必要な体験を得ていき、心身共に健やかな人間形成や子どもの育ちを援助し、生き抜く力を培う

2 学年の教育目標

乳児 一人ひとりが心地よく安定した生活リズムで過ごし、保育者と信頼関係をきずく

満3歳 自分の気持ちを表現し、受け止めてもらうことで園生活の意欲を高める

年少 基本的な生活習慣を身に付けるとともに集団生活に慣れる

年中 学級の中で安心して自分を出し、友だちと遊ぶ楽しさを感じ取る

年長 クラスの中で一人ひとりが自己発揮し、友だちと協力し合いながら自主的に園生活を進めていくようにする

3 今後とりくむべき課題

○異年齢児が交流できる場を増やし、様々な情緒を育てていく。

○IT環境を利用し職員間で情報を共有をし、特別支援保育など職員間で理解を深めていきたい。

○個人情報の取り扱いに十分に配慮しながら保護者に保育の様子をわかりやすく発信していきたい。

○他校や地域の施設と交流がもてる機会を多く作っていきたい。

○毎月実施している防災訓練等も引継ぎを行い、安全対策を確実にしていきたい。

2023(令和5年度) 学校評価報告書

横内幼稚園

学校法人勢至学園 横内幼稚園

園長 山田浩子

学校評価委員長 池谷聡美

- A: たいへんよい
 B: よい
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

項目	内容	評価				意見・改善点
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	A				・学年の教育目標が発達段階をよく意識し、系統的になっていてわかりやすい。 ・その年の子どもの様子を見て、目標を立てる事がすばらしいと思います。時代の動き、社会の流れを捉えて保育されている表れだと思う。 ・安心できる環境から自分らしさをだし、友だちと協力し、自主的に生活をする子どもたちの成長がみられる。
	(2)目標は、園や地域の特色を生かしているか。					
	(3)目標は前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。					
	(4)目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。					
	(5)P(計画)D(実施)C(評価)A(改善)の体制を取っているか。					
保育・教育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A				・教材研究を大切に、用具や素材を適切に使用し、保育、教育を行っている。 ・自己評価を適切に活かし、改善しようとする方向性がみえる。
	(2)環境の構成を意識した保育や教育を常に工夫しているか。					
	(3)素材・用具を適切に活用しているか。					
	(4)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。					
	(5)1日の流れ(ディリープログラム等)は現行でよいか。					
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。	A				・子どもや保護者が楽しめる様々な行事が設定されていて、園生活がより豊かになるように工夫されている。 ・今後も行事の『ねらい』を明確にし、遊びなどに移行し、ふくらむような行事にしてほしい。 ・季節に合わせた行事を行っている為、家庭でも話題のきっかけとなっている。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。					
	(3)子どもの活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。					
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。					
	(5)保護者の要望や意見を取り入れているか。					
職務	(1)能率的・合理的な運営組織になっているか。	A				・職員一人一人が心身の健康を第一に生き生きとやりがいをもって働けるようにこれからも協力して職務を行ってほしい。 ・職員同士が声を掛け合いやすい職場の雰囲気が伝わってくる。また、それだからこそ組織が円滑に動くのだと感じる。
	(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。					
	(3)係や仕事の分担・割り当ては適切か。					
	(4)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。					
	(5)職員相互がそれぞれ全体的に立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設運営に関わっているか。					

項目	内容	評価				意見・改善点
		A	B	C	D	
クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は保育目標に重点目標に基づいて設定しているか。	A				<p>・異年齢児の交流ができる環境を増やすことで子どもたちの視野が広がっていくのではないだろうか。</p> <p>・異年齢児の交流は下の子が上の子を見ての憧れる気持ちや上の子が下の子に見られてしっかりしようする等、成長に欠かせない大切な環境であるので、これからも大切にしてほしい。</p>
	(2)年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか。					
	(3)年齢別・クラスの短期・長期のねらいは適切に設定しているか。					
	(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。					
	(5)評価、資料(諸記録)を集積しているか。					
特別支援教育	(1)全職員で情報を共有し、チームで対応しているか。	A				<p>・外部機関との連携をこれからも密にし、一人一人の子どもをこれからも大切にしてほしい。</p> <p>・アプリなどを使用し職員全員で情報を共有し、共通理解をしているところは高く評価したい。</p>
	(2)個別指導計画を作成しているか。					
	(3)家庭と専門機関との連携を図っているか。					
保健・安全・防災教育	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	A				<p>・保護者と連携し行う、引き渡し訓練や園で子どもたちと実際に非常食を食べる体験などを行っているところが良い。家庭でも親子で災害に備えた備蓄を考える良い機会となった。</p> <p>・引き続き、バス乗降や登園出欠管理をしっかりと行ってほしい。</p> <p>・門の施錠など、電子キーの導入により一層安全に対する安心感が増した。</p>
	(2)子どもの安全確保のため、家庭、地域社会、関係機関等と連携を図っているか。					
	(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。					
	(4)避難訓練・交通安全指導計画を計画に基づいて適切に実施しているか。					
	(5)不審者等に対する周到な配慮を行っているか。					
食育	(1)旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしているか。	A				<p>・アレルギー対応児については引き続き、園全体で細心の注意を払い保育に取り組んでほしい。</p> <p>・園全体として食事に対する意識がとても高いのが良い。</p> <p>・年間を通じ田植え～稲刈り、野菜の収穫体験等、幼児期に貴重な体験ができるところがとても良い。</p>
	(2)年齢に応じて食事を楽しむことができる工夫や配慮がなされているか。					
	(3)子どもの食事環境や食事の提供が適切に行われているか。					
	(4)アレルギー対応については、保護者や職員・関係機関と連絡をとり適切に行っているか。					
	(5)食育の活動や行事について配慮や工夫がなされているか。					
園内研修	(1)研究テーマは保育目標の具体化につながるものであるか。	A				<p>・外部講師を招いて、様々な講習会、研修会を行っていることで職員の資質向上につながっている。</p> <p>・研修を充実させる為に研修時間の確保もしていきたい。</p>
	(2)園内研修の計画・運営は適切か。					
	(3)研究の成果を日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させているか。					
	(4)研修の実践による子ども理解が深まりをみせているか。					
園外研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	A				<p>・職員の資質向上や視野を広げるためにも今後も大切にしてほしい。</p>
	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を職員に伝え、共通理解を図っているか。					

項目	内容	評価				意見・改善点
		A	B	C	D	
情報	(1)子どもや保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	A				<p>・個人情報保護と教育内容の保護者への発信は表裏一体であるが両方とも大切なので今後も適切に取り組んでほしい。</p> <p>・個人情報について外部講師を招いての全職員の研修はとても良い。</p> <p>・『おうちえん』で日々の生活の様子や行事をリアルタイムで園から発信してくれるので子どもの様子がわかり安心できる。</p>
	(2)知り得た情報等の守秘義務を果たしているか。					
	(3)園だより・ホームページ等で施設や保育・教育内容の情報を保護者に発信しているか。					
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A				<p>・子どもたちが安全で楽しく快適に過ごせるように、引き続き、職員による毎日の点検、及び外部による定期点検を続けてほしい。</p>
	(2)遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。					
	(3)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。					
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に管理・処理しているか。	A				
施設間交流・連携	(1)他施設等の子どもと触れ合う中で、楽しく過ごし、充実感を味わう事ができるような配慮・支援を行っているか。	A				<p>・スタートカリキュラムの研修を幼・小の教員で顔を見合わせ実現できると良いのではないだろうか。</p> <p>・園の先生が小学校に訪問する機会が多く、先生同士の情報交換ができているので安心する。</p> <p>・小中一貫だけではなく、地域の方に幼小連携を発信して行ってほしい。</p>
	(2)小学校との連携体制は整備され機能しているか。					
	(3)公開保育や参観、授業等に参加するなどして、幼稚園、小学校の教育を理解しているか。					
	(4)情報を交換し、それぞれ交流活動に生かしているか。					
家庭・連携との	(1)参観時間を制限せず、保護者以外にも対象とした参観日等を設定しているか。	A				<p>・コロナ等の感染症もだいぶおさまってきたので、保護者、地域の方が参加できるものを増やして行ってほしい。</p> <p>・地域施設との交流も引き続き大切にしていきたい。</p>
	(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。					
	(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。					
	(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活様式に触れているか。					
子育て推進支援の	(1)地域の子育ての拠点として園庭の開放や子育て相談、保護者同士の交流の場として支援を行うように努めているか。	A				<p>・保護者が子育てで孤立しないように園として地域の子育て支援を行ってほしい。</p>
	(2)子どもの発達や教育・保育などについて、保護者会などの話し合いの場に加えて保護者と共通理解を得るための機会を設けているか。					
	(3)医療機関・児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。					
外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	A				
	(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。					